

野口遵記念館建設 市民ワークショップ通信

日時：平成30年12月12日（水）19：00～
会場：延岡市役所2階 講堂



開催の概要

今回のワークショップではより多くの市民の皆様からご意見を頂くため、事前の申し込みに関わらず、自由に参加できるようにしたところ合計で30名の方々に参加して頂くことができました。

最新案の説明では変更となった野口遵顕彰ギャラリーとトイレの配置を含めた全体平面計画をプロジェクターで投影した大きな画面で説明させて頂きました。また、前回から用意した周辺状況のわかる1/500の模型に加えて、新たに1/100の模型を用意しました。大きな1/100の模型を見ることで建物の中にある三つの通りやホワイエ、3階の屋外テラスの位置関係や空間の大きさがわかりやすくなった、と意見を頂きました。

今回のワーキングではパブリックエリアの使われ方について話し合い様々な意見とアイデアが交換されました。日常的な賑わいをどう作り出すかを市民の皆様が考え、共有されることで施設の関心がより高まっていく事を感じることができました。

当日の全体の流れ

- 1.開会の挨拶
- 2.主旨説明
- 3.前回のまとめ報告
- 4.最新案の説明
- 5.ワーキング（自己紹介、意見交換、とりまとめ、グループ発表）
- 6.設計者より一言
- 7.閉会、事務連絡

参加者 30人

ご意見の概要

4つの班に分かれてのグループワーク

ワーキングのテーマ「パブリックエリア（ホール外）の使われ方のイメージ」

全体

比重。顕彰とホール機能のバランスが大切/旭化成展示センターとの交流が必要（向陽クラブ）/静かな環境の確保/地下はつくれないので地表部につくる、地上も高さは決まっている/夏祭りの活用/学校側との協力・創意の時間利用・見学コース・一ヶ月ごとに各学校の展示に使う/お祭りができると子供、孫等と行きたい/発電/レヨン工場のブルーの水（の雰囲気）の出ている工場の雰囲気/入りやすい施設、自由に入れる/かじこまらない・親しみやすい・リラックススペース・きれいきれいなSPACEよりも人が散歩のついでに一休みできるように/まち歩きの一つとなるような施設/イベントをする、出店する、にぎわいを作る/外観はかっこよく、スマートに、内側はアットホーム、親しみやすく/市民にとってどんな場所か/災害時対応/延岡は歩く人が多い街。内藤記念館、野口記念館、市役所、城山近辺を繋げて日々歩けるルートがほしい/自由に入れる（建物内）アプローチとする/防災の視点

トイレ

WCの比較研究

EV

バリアフリーEV乗れる人数確保/EVの人数は？

ホワイエ

舞台見学者の有料チケットのモグリ場所要検討/二階フロアの活用、行事をするには見はらしがないので有料のお店コーナーにしたらどうか

フリースペース

フリースペースの遮音とオープンにできる/楽器の進化（発展）古楽器～現代まで/スポーツのパブリックビューイング（甲子園など）/アマチュアバンドのライブ/ミニコンサート（フリースペース）

テラス

3階テラスの活用、飲食可能売店/3Fテラスお茶会がしたい/3階テラスお茶会/喫茶室、オープンレストラン/配置を変えて3Fからの眺めを良くしては、3階テラスに階段が必要では？防災+市民スペース/テラスに緑がほしい。例えば人工芝等

外構

クリスマス電飾が見える（ツリー壁） 市民から見直進通りなので/ガラスよりは少し緑で隠してほしい/そこからにぎわいがわかる/中が見えて何をしているか分かりやすい/内から外が外から内が見えるのはよい

野口遵顕彰ギャラリー

化学実験スペース、夏休み期間中/現野口記念館の緞帳を展示できれば/WCとギャラリーの関係/太陽光に弱いものもあるので閉じた空間がほしい。展示するもので傷みやすいものもある/ギャラリーを専用にする案もある。（顕彰）/展示+ワークショップのスペース/神楽まつりの展示をここでやる/市民発表の場がほしい/期間ごとに様々な展示ができること良い/ギャラリーが色々な企画展をやっている/美術館等のスペースがあれば/1.野口氏を知ってもらう、通史的に説明したい 2.導入部としてパブリックスペース/延岡の物産展示、特産品、安全安心の食品（パネルで）/市民美術ギャラリー/楽器などの展示会場/児童生徒の絵画展示/絵の展示ができる場所/絵の掲示/展示パネル/生け花/書の展示/野口ギャラリーの多目的利用/三菱一号館の展示のように野口さんを感じるアンティークな素敵な展示/ギャラリーを作るのではなく詳しくは次の場所へのアプローチをしていく/サイン等を作成し延岡市内で案内をする/野口記念館の今までの歴史（おもしろエピソード等）も入れて展示しても良いのでは/野口さんの歴史も紹介してほしい/旭化成の方に詳しく人物を聞きたい/野口の施設の意味を教える/野口遵氏の紹介、旭化成とのつながり/ストーリーのある展示、延岡の歴史/英知を感じる展示/ギャラリーに人が流れるしかけ/常設すると来客が度々（野口さん）訪れるかどうか、他の利用もできるのか/野口ギャラリーも多目的に使えたい方がよい/扉で仕切る事も大切/西日本マラソンの展示

野口遵どおり、おおせどおり、こかせどおり

直線の通りだけでなくポケット的なところがほしい/ロビーコンサートがしたい/カフェ、ショップがほしい、なにもなければだめ/子供のストレッチはすみわけが大切/昼が食べられたらよい/市民フェスタとして全館展示できる/パブリックフェスタ、パブリックエリアを使った市民が考えるフェスタ/パブリックお茶会・小さなおしゃべり会（高齢者の憩いの場）・自由に利用できるおしゃれなパブリック/展示ケースへの興味を高める工夫（子供へ）（光、映像、タッチパネルなど）/子供のためのプレイルーム、子供のための図書、絵本コーナー（季節毎）/若山牧水に関する、牧水かるたリレー（大人も子供も楽しめるような）子供供たる大会/子供のプレイルーム、子供の簡易な図書館等があると良い/野口遵通りにも顕彰スペースを残して欲しい/ホワイエ、ロビーの高さの空間、旭化成の布展示/野口遵氏の記念日にミニコンサートをする/3つの通りを展示場に（子供たちの作品など）/学校の展示を行う、毎週学校を変える等/椅子を設置する/カフェが欲しい/簡単な食事ができる空間も必要（電源が必要）/休憩スペースを設けてほしい/椅子は（くつろげる）あるといい、ロビーなど/ぼーっと外を見たいところがあるといいと思います。（老人も増えるので）/リラックスできるベンチのあるスペース、飲食スペース/弁当でも食べられるスペース（気楽な感じ）/弁当を持ち込んで食べたい/託児所（子供のスペース）/朝、のぐちマルシェ/ロビーコンサート/人が集まる場所、交流できるカフェ、ゆっくりできる場所/学習スペース、学生がつかえるAC、WIFI欲しい/ホール使用時以外の時も自由に使えるパブリックスペースとしてほしい/人が集まる、つながるスペースの確保

外部

城山の石垣が残っているので再利用すべき/鯉は大切/駐車場の夜のセキュリティ/3階への外部階段がほしい/城山への登り口を作る/にぎの庭、屋外ロビーの活用方法の検討/延岡を表現するようなイルミネーション/建物の案内(外部)人が入ってくる/外にちょっとくつろげる空間があるといいと思います。水や緑/緑化/植栽を道路とガラスばりの建物の間に、間接的にのぞむ/自然と中へと誘導する入り口とする/市役所の市民スペースとの動線をうまくできないか

屋外ロビー

南側に溜まれる、賑わう子供とお年寄りのスペース/屋外ロビーの活用、子供の集まる場所として簡単なアスレチック、噴水広場など/屋外ロビーは広く使えるよう植栽は脇へ/屋外ロビーでお茶会/屋外ロビーでのカフェ/屋外コンサート/遊具などは置かず!山(ホルトホールの外)のような土を盛ったところが公園にあると子供は遊べると思います。/多目的に使える広場、雨の日でも使えるイベント広場/屋外ロビー 衣食住が感じられるようなマルシェ/にぎの庭 緑を多くして欲しい(城山-内藤記念館)

楽屋

楽屋のプライバシーも大切、ロビーの遮音、楽屋専用庭がよい/楽屋の搬入と人の溜まり

材料

旭化成のテキスタイル、ファイバーをインテリアに使えないか?(ディスプレイよりも機能的に)/心地よい あたたかい素材の仕上げにしてほしい

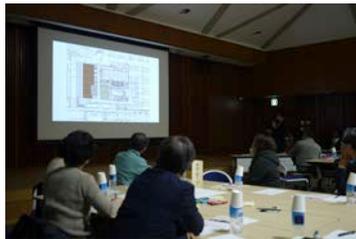
ひとことアンケート

- ・毎回、とても楽しく皆さんの意見を聞かせて頂いています。とても素敵なホールが出来そうで嬉しです。今の(既存の)野口記念館の「さよなら ありがとう イベント」もWSメンバーも含めて、皆で楽しみたいです。
- ・自分の意見(希望)がどこかで生かしていただけるとホールに親しみが持てるはずです。
- ・大変有意義な会でした。
- ・ホールの中身が一番ですが、そこにあることで嬉しくなるようなホールになったらいいと思います。展示は野口さんを感じるような(そのもの展示でなく)喜びを感じる、幸福感を感じるスペースになりますよう、期待します。ガラス張りは少し緑で隠してほしいです。
- ・市民がくつろげる施設として、いつでもフラットといって楽しめる場所になって欲しい。初めて参加して色々な意見が聞けて良かった。
- ・今日も活発な意見交換ができて、とても良かったです。
- ・衆知を集め、ボトムアップしてきています。今後は楽しみです。
- ・1回目より今回、色々な方のご意見を聞いたり、関係者様のお話を伺う事で、建物の意味もはっきりしてきました。この後のワークショップも楽しみです。
- ・通路でマルシェを外にも大屋根をつけて、外と内の一体感を持たせる→イベントが雨でもできるように。
- ・色々な人の意見が聞けて、良いワークショップです。限られた予算内でベストな設計に続けてください。
- ・いろんな意見が出て非常に良かった。
- ・学生のスペースは大切だと思った。

- ・最初(第1回目)は、あまりイメージがわきませんでした、少しずつ具体的に見えてきます。3回目も楽しみです。いろいろつくりたいもの、アイデアは泉のようにわきおこりますが、予算の範囲内でということも考えなくてはいけないと思うので、むずかしいですね。野口さんの伝記を共通理解したいですね。
- ・空間があると、様々な催物、展示は出来ると思うが、高さがあるので、高い空間を飾るものも必要かと思う。光、壁、長さがわからないと、なかなかつかめない。
- ・あつという間に時間が過ぎていたけど、ワークショップとはどういったものなのか理解できたのでとても良かった。
- ・参加者のご意見もとても興味深く充実した時間でした。又、時間が許さざり、勉強して行きたいと思えます。前回の皆さんの意見を良くまとめていただき、さらにすばらしい設計(案)が出されてました。ますます楽しみになってまいりました。
- ・市役所側から見た時に(入口は3箇所だが)見えるというのは、～現在は閉ざされているが～大変興味はわく。
- ・野口遺蹟彰スペースのつながりを。屋外ににぎの広場の活用。3階テラスの有効活用。市民の集まりやすい広場へ建物へ。
- ・それぞれの方面からの意見、考えがきけて、良い時間でした。
- ・専門家の意見を早めに聞いて、まとめたら良いと思えます。
- ・1回目、2回目と回を重ねるごとに、様々な考え立場があることに気付かれます。このような思いが詰まった記念館がどうできていくのか、楽しみでなりません。
- ・グループのみなさんがテーマに沿って意見を出して、有意義な時間でした。



会場の様子



最新案説明



意見交換の様子



グループ発表の様子

設計者、事務局からのコメント

設計者コメント:

第2回目はパブリック部門についての意見交換です。パブリック部門は、日常的に気軽に使用できる日常の延長にある場所でありながら、イベント開催時の非日常を彩りワクワク感を高める場所です。参加者はパブリック部門が日常と非日常の中間であることを認識しながらの意見交換となりました。また、施設の目的の一つでもある野口遵翁を顕彰することに対する思いを聞くにあたり、この「まち」の近代の成り立ち、そしていまに至る時間の流れをこの施設に映し込むことで素晴らしい施設になることが確信できました。ワークショップを重ねるにつれ、参加者の野口遵翁記念館に対する強い思いが施設の計画を醸成し、よりよい計画へと導いています。次回はこの施設の根幹となるホール部門に関する意見交換となります。参加者の熱い思いが聞けるのが楽しみです。

事務局コメント:

今回のワークショップでご参加いただいた皆さまの様子を眺めながら、進め方に慣れていただいたのか、前回よりも柔らかい雰囲気の中で、活発に意見が交わされている印象を持ちました。第2回目は、パブリックエリアの使われ方をテーマにご意見を頂きました。野口遵翁の顕彰ギャラリーの展示方法やギャラリー自体の使われ方、また、3つの「とおり」や屋外ロビーにおける、公演等が開催されてなくとも日常的に人々が立ち寄り憩うことのできる空間づくりなどについて、活発なご意見が出されていました。新たな野口遵翁記念館では、日常的な人の賑わいの創出や、野口遵翁を顕彰することに力を入れておりますので、皆さまの今回のご意見は、大変参考になるものと考えております。今後も設計者と検討を重ねるとともに、今回いただいたご意見を実現するためには、施設の運用方針について、しっかりと整理する必要があると感じました。これからも皆さまと新施設についての議論を深めていきたいと思えます。

設計者 香山・小嶋・菊池・松下・コトブキ・オーツ特定建築設計共同体

事務局 延岡市教育委員会 野口遵(したがう)記念館建設室

【お問い合わせ】

〒882-0822
宮崎県延岡市南町2丁目1番地8(市役所南別館)
延岡市教育委員会
野口遵(したがう)記念館建設室
tel:0982-20-5523
fax:0982-34-6438
e-mail:
noguchi-k@city.nobeoka.miyazaki.jp

今後の開催予定

第3回	延岡市役所講堂	2月13日	・ホールまわりの使われ方のイメージ/最新案の検討(予定)
第4回	延岡市役所講堂	4月中旬	・施設の活用の仕方、活用事例紹介/最新案の検討(予定)
第5回	延岡市役所講堂	7月中旬	・基本設計説明会/意見交換